

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
幸地 猛	雇用の確保について	町の方針について	町長	雇用の確保については、最重要課題として取り組んでおります。第1次産業である農業・水産業を中心に振興策を図り、農産物・水産物を活用した製造加工業を推進し、さらに観光産業と結びつけた第6次産業化を推し進めながら雇用対策を図っていく考えであります。また、深層水複合利用事業やゴルフ場開発などの大型プロジェクトの推進により、雇用対策を図っていきたくと考えております。
幸地 猛	美崎背後地の企業誘致進捗状況について	企業の応募状況について	町長	現在、企業用地として2期分譲地については1件売却済みで海洋深層水を使った塩工場を設置し営業をしている状況です。
幸地 猛	地産地消について	町の取組み状況について	町長	地産地消については、地元で生産されている産物の調査や消費動向を調査し、地産地消ネットワークを構築していくための準備を進めているところであります。現在、大きな課題となっている夏場の野菜類の供給ができるように試験栽培を行うなど、栽培技術を高め、年間を通して野菜類が供給できるような仕組みづくりをしているところであります。また、水産物加工施設や直売所の施設整備を図るための事業導入を進めており、将来的には直売所を拠点として久米島地域全体の一体的な地産地消の推進を図っていきたくと考えています。
仲村 昌慧	鳥島射爆撃場について	鳥島射爆撃場の賃貸契約問題で「町長が議会を裏切るとは町長の政治生命は終わりです」と答弁したが、その責任はどうとるのかの質問に、総務課長は「その責任は私にある。責任の取り方については、しっかりとけじめをつける責任の取り方、早期返還につなげるように山を動かす責任の取り方、任命権者の町長の指示もあるので考えていきたい」と答弁しているが、未だに責任をとっていない。どう責任を取るか伺いたい。次に、振興策については具体的な要望を踏まえて「防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律」に基づいて適切に対応していくと回答しているが、今回、鳥島射爆撃場が特定防衛施設周辺整備調整交付金の支給対象となったが、この交付金によって振興が図られていくのか伺いたい。次に、早期返還について国が誠意をもって取り組むこととしているが、具体的にどのような取組みを要求していくのか伺う。	町長	総務課長の6月定例議会での発言は鳥島射爆撃場の予約問題について町議会への説明の機会失したことについての事務方として一定の責任があるとの認識のもとで、責任の取り方として、(1)更迭される。(2)鳥島射爆撃場の返還問題が少しでも前進するように一生懸命取り組む。という2つの責任取り方があることを示したものだと思っています。私としては、今しばらくは、鳥島射爆撃場問題が少しでも前進するよう全力で取り組んで頂きたい。振興策については、今回新たに鳥島射爆撃場が特定防衛施設に指定されましたので、交付金の有効活用と民生安定施設の補助金を有効に活用して、振興を図って参ります。早期返還については、鳥島射爆撃場の返還問題が国レベルにおいては、日米安全保障合同委員会のテーブルに乗せることができましたので、日本政府から米国に対して返還を求めていくことを要求をします。現地レベルにおいては、沖縄防衛局と久米島町との間において「鳥島射爆撃場等に係る意見交換会」が設置されていますのでこの場において返還を求めて参ります。
仲村 昌慧	職員採用について	平成21年度の職員採用について同僚議員が「家族で町の職員になることが町民にとって納得できないので、それを改善することができないか」との趣旨の質問に対して「平等取り扱いの原則、成績主義の原則によって成績主義を徹底している」と答弁している。しかし22年度は、このまま現在の採用方針で推移すると役場職員の子が職員の相当数の割合になる。議会及び住民から不信の声が挙がっているとして、今後の方針としては成績主義を原則としつつ、住民感情にある程度配慮し町民の理解を得られる制度とする必要がある。成績の差があまりないときは、職員の子は採用しない政策的な配慮が必要とし、政策配点として職員の子以外の受験者10点。一般職員の子の受験者5点。特別職、管理職の子の受験者0点という政策配点を取り入れて実施した。23年度は去年の反省点を踏まえて試験の実施方法に若干の修正を加え実施したと答えている。修正点は何か。今後の方針を伺いたい。	町長	平成23年度職員採用試験で前年度から変更になった点をご説明します。 (1)職員採用試験委員会規程を制定し委員長を副町長としたこと。 (2)作文試験の採点を外部委託としたこと。 (3)面接試験の委員に外部の学識経験者を1名加えたこと。 (4)町長の政策加点を廃止し、面接等の中に書類審査点を設けたこと。 以上でございます。今後については、平成23年度の採用試験結果の各試験委員の意見を踏まえて、次年度の採用試験実施計画を定めたいと考えています。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
仲村 昌慧	レジ袋タイプの指定ゴミ袋導入について	在、久米島町が使っている指定ゴミ袋は結びにくく、持ち手がないため運びにくい。与那原町では11月1日より県内で初めて、レジ袋タイプのゴミ袋を導入しているが、結びやすく、持ちやすいと好評である。本町で持ち手付きのゴミ袋を導入する考えはないか伺いたい。	町長	現在、本町が利用している印刷会社とレジ袋タイプの印刷の調整をしており、今後レジ袋タイプへの切替を他印刷会社を含めて調整をしております。
島袋 完英	下水道工事の進捗と接続状況について	(1) 嘉儀山地区が遅れているのはどうしてか。計画は何年度か。 (2) イーフ処理区で63%の接続率のうち、字イーフの接続戸数が177戸です。実際に確認しているか。 (3) 清水処理区の埋め立て地区で未接続戸数は。 (4) 今後接続の推進はどのようにやるのか(強制はできないのか)。 (5) 両処理区の管理会社は。管理費は。	町長	(1) イーフ処理区の当初は字泊、謝名堂、比嘉、真我里の4集落を建設省の公共下水道事業より平成2年度に認可を受け平成13年度に完了をしております。その他の集落については、農林省の農業集落排水事業で計画をしており、平成14年度の両村合併に伴い美崎校区、奥武島、銭田、山城を同14年度に変更認可を受け、美崎校区を平成26年度の完了予定で整備をしております。儀間、嘉手苅についても建設省の公共下水道事業において実施することで協議済みであり平成23年度には基本計画の委託業務を発注しております。今後の実施については、現在認可済の銭田、山城の整備後になります。 (2) 字イーフの世帯数116戸に対し、接続戸数が177戸となっている。イーフ地区は店舗が多く店舗については世帯数に含まない為、接続戸数の177戸には店舗も含めた数字となっております。 (3) 埋立地区の世帯数160戸のうち、112戸が未接続であります。 (4) 現在、特例を設定し推進しているが、接続に対し、法的に強制は出来ません。 (5) イーフ、清水処理場の維持管理は株式会社沖縄ダイケンで管理費は13,440千円であります。
島袋 完英	兼城港の整備とフェリー乗り場の整備について	(1) フェリーバースをターミナルの正面に移動すべきだと思うが。 (2) ボーディングブリッジの建設計画は。 (3) 泊港の乗り場も大変不便で苦情が多い。会社や港湾課と協議し改善する必要があると思うが。 (4) 久米島町の持ち株は。総会には出席しているのか。 (5) 大型船または高速船の導入計画は。	町長	(1) ターミナル正面へ移動するため現在、旧バース改修に向けた設計を実施中です。 (2) ブリッジについては、新ターミナルの構想とあわせて検討中です。 (3) 泊港の現状改善については、那覇港管理者の計画にですが、フェリー等の貨客船を那覇港へ集約し、高速旅客船については、泊港をそのまま活用する予定があります。ただ、計画の実施時期が確定していないため、指摘されている泊港の現状については港湾管理者に対して適宜、改善を求めています。 (4) 久米島町の持ち株は1,480株(14.8%)で総会については参加したり、委任状で対応する場合があります。 (5) 現在就航している2隻のフェリーは船齢が20年以上と古いため、1隻は来年6月就航に向けて既に事業者において、建造発注済みです。また、高速船導入については2隻目のフェリー更新時期に導入したいと考えています。
島袋 完英	久米島まつりの形態について	(1) 大綱曳きを恒例行事にすべきだと思うが。 (2) 地域の伝統芸能をもっと取り入れて、観る祭りから参加する祭りにすべきだと思うが。	町長	(1) 来年、12年ぶりの大綱曳き復活に向けて保存会を再結成するなど、実施に向けた準備を進めています。綱曳き行事の恒例化については来年の実施結果を踏まえて検討したいと考えています。綱曳きについては、綱の制作から使度(したく)の準備、綱を曳く行為まで町民を総動員しないと実施は不可能であり、観る祭りから、必然的に参加する祭りへの変化が期待できると考えております。 (2) 久米島まつりを盛り上げていくためには、できるだけ地域参加型のまつりが理想的だと思います。今後とも関係各団体からの意見を聞きながら、もっと祭りが盛り上がっていくような取り組みをしていきたいと考えています。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
島袋 完英	赤土流出防止対策について	(1) 川沿いの民有地を買い取って沈砂地の増設はできないか。 (2) 既設の側溝に穴を開け、地下に浸透させる方法もあるがどうか。 (3) 既設の沈砂地の現状を点検したことがあるか。	町長	1問目についてお答えします、町一円の河川を対象に沈砂地を整備するのであれば莫大な予算がかかる為、補助事業の導入を視野に入れて検討します。 次に2問目ですが、既設の側溝に穴を開けて地下浸透をする方法が他自治体等で実施し効果を上げているのであれば情報を収集しながら導入の検討を致します。 次に3問目ですが、既設の沈砂地は現在各土地改良区が管理していますので、現状につきましては管理者である各土地改良区及び産業振興課とタイアップし調査を致したいと思えます。
翁長 学	町の農林、水産、商工、観光における新年度予算について	平成23年度は、3月11日の東北における震災に始まり、低温気象による作物の生育不良、早い時期の台風により、農業、水産、商工、観光に大きな影響を与えている。24年度予算で、町として各業種に対して、大幅な予算措置をしてほしい。	町長	ご指摘のとおり、今年は産業の振興を図る上で大変厳しい状態が続いています。今後とも積極的に各部門の産業の振興を図っていくためには、効果的な必要な予算の確保は大事だと考えています。関係各団体の意見を聞きながら発展的な諸施策の検討をしていきたいと考えています。
翁長 学	久米島航路のJTA、RACに移管する件について	現在、久米島の航路には、JTAとRACが運行しているが、JALの路線再編により、久米島のJTA便が削減されるという報道がある。そうなると、航空貨物を頼りにしている業種、そして観光に大きな影響を与える。町としてどのような対応をするのか。	町長	JTAでは、経営構造改革の一環として赤字路線のジェット便を減便する計画が打ち出されています。その中に久米島の最終便で運行しているジェット便を減便し、RAC便を2便運行するとされています。町としては、多量輸送としてのジェット便が減便されてくると観光誘客や車エビなどの産業振興に大きな影響が出てくるということで、地元関係団体で要請活動をしているところであります。JTAに対しては、去る11月25日に要請し、県知事、県議会議長には、12月13日に要請を行い、輸送体制を最低でも現状維持するように、また、離島運賃補助の継続や島外利用者に対しても運賃補助の対象となるよう要請しているところであります。引き続き情報を収集しながら関係機関に対し必要な要請をしていきたいと考えています。
崎村 正明	新たな”山羊肉文化”に期待したい	山羊肉と言えば、家の新築祝いや諸行事の後、慰労会等でヒージャー汁やヒージャー刺身として供されるかたわら、田植えやサトウキビ収穫後の疲れなおしとして食され、またヒージャーグスイと言われるように、その薬効も信じられています。島の人たちは昔から山羊肉に含まれるタンパク質は、スタミナ源であることを経験的に知っていましたが、その特有な臭いのためか、ここ最近山羊肉を食べない人たちが増えている。このままいくと山羊肉文化としての山羊肉料理がなくなるのではないかと心配する声もあり、久米島町として県の山羊振興活性化事業などを利用して、従来のヒージャー肉文化を守りながら、新たな”山羊肉文化”を広げていく必要があると思うが、町長の所見を伺いたい。	町長	「山羊肉文化」としては、現在も民間に継承され定着されてきていると思えますが、新たな「山羊肉文化」としても民間レベルで継承されていくべきことだと考えています。山羊の振興については、県と連携を図りながら取り組みをしていきたいと考えています。
玉城 安雄	県立高等学校編成整備実施計画(素案)での久米島高校園芸科廃止について	久米島高校園芸科の存続は町民多数の反対にもかかわらず、廃科ありきで進んでいるように思われる。久米島町としても早急な対策を立て、県に対して要請すべきだと考えるが、見解を伺いたい。	町長 教育長	8月22日及び11月29日に沖縄県教育庁総務課より久米島高校の編成整備計画について素案の説明がありました。町民の思いとは真逆の説明となり、町としては承服できるものではなく、12月11日の町民総決起大会開催そして13日には、県知事、県議会議長、県教育長に対して園芸科存続の要請行動を行いました。
玉城 安雄	教育行政について	久米島町立幼・小・中学校統廃合検討委員会で、中学校の統廃合を優先的に行うという決定がなされているが、その進捗状況並びに、町の方向性を伺いたい。	町長 教育長	現在、久米島中学校と仲里中学校の統廃合について検討委員会で話し合いを進めながら、久米島校区の保護者と児童・生徒にアンケート調査を実施し、調査結果の報告と意見交換を行いました。今後は、年度内に決定できれば、準備委員会の立ち上げなど、平成25年度を目途に統廃合に向けて進めていきたいと考えております。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
平良 義徳	普通河川の土砂の除去について	字嘉手苅にある、通称「カーゾーメー」橋附近から、久米島高校附近を流れる河川の到る所に土砂が蓄積し、又ヘドロ化し、水の流れが悪く頻繁に悪臭がする。以前にも土砂を浚うよう要望し、バックホーの手配までしてであると建設課は言っていたが、その後尻切れ状態となっているが、何故そうなったのか説明をいただきたい。又、早急に土砂の除去を確約できるか伺いたい。	町長	質問にございます河川につきましては、以前に重機を手配し浚渫の段取りをしていましたが、河川沿いの用地が民有地であったのと、一部拝所であるという地域からの話があり、そこに重機が乗り入れするのに対し懸念視する意見があったので、その当時は断念した経緯があります。今後、地域及び地権者の理解を得る事が出来れば浚渫の実施に向けて取り組んで参ります。
棚原 哲也	本町の観光振興方針について	(1) 日本トランスオーシャン航空のジェット便の減便計画について町、町議会及び町内経済団体で継続運行について要請(11月25日)しておりますが、ジェット便の減便によって旅行社の商品企画をする上でも大きな影響を及ぼし、疲弊している本町の観光産業にとって大きなダメージを与えると思われるが町としての今後の取り組み方針を伺いたい。 (2) 離島航空運賃割引制度の延長及び、離島住民以外の来島者(観光客)等への同制度の拡充の可能性について伺いたい。 (3) 日本の渚百選に指定されているイーブビーチが大変見苦しい状況にあり、渚百選のビーチとして美しさを維持していくため、ビーチクリーナーの導入が必要と思われるが町としての方針を伺いたい。	町長	(1)については、翁長学議員へ答弁したとおりであります。 (2)離島航空運賃割引制度については、国の補助金制度の交付基準によって、事業が実施されていますので、その判断基準となっている考え方を変えないと厳しいと考えています。県に対しては引き続き、久米島の島外利用者についても割引航空運賃制度が適用されるよう要請していきたいと考えています。 (3)日本の渚百選に指定されているイーブビーチが汚れているのは大変心苦しいところがあります。イーブビーチの管理方法については関係者と話し合いをしながら対応していきたいと考えています。その中でビーチクリーナーの必要性や管理運営体制などの検討をしていきたいと考えています。
棚原 哲也	高速船(旅客船)の導入について	(1) 町長の一期目の選挙及び公約に”高速船の導入”があり、3人体制でプロジェクトチームを作り調整検討されたかと思われませんが、これまでの調査の進捗状況を伺いたい。 (2)(株)久米商船との高速船導入についての交渉の結果報告と、今後の導入についての考え方を伺いたい。	町長	(1)高速船導入については、かつて久米島航路に就航していた欠航頻度の高いブルースカイの実状も踏まえ、新たに導入する船の条件として、東シナ海のシケ、うねりに十分対応できる船がないか調査を行いました。国内に限らず、海外メーカーも含めて、情報収集、調査をした結果、久米島航路に最適な船として、トリマラン(三胴船)型の船が候補としてあがっています。 (2)調査に基づき、◆久米商船と候補の船の導入可能性について何度か話し合いを重ねてきましたが、久米商船としては船齢約30年で老朽化の著しい「フェリーなは」の更新を最優先に取り組んでおり、すでに(来年就航予定の)1000トン規模のフェリー建造に向けた計画が動き始めていたことから、高速船の導入については引き続き調整することになりました。町としては、建造に向けた財源計画を示しながら具体的な導入時期の調整を行う予定です。目標としてはフェリーニューくめしまの引退時期が最も良いタイミングだと考えております。
棚原 哲也	具志川漁港の利用状況について	(1) 台風時の荒波の影響で、斜路船揚場が崩壊し、使用不能な状況にあると思われるが、当漁港の今後の取り扱いについて伺いたい。	町長	本漁港は整備後、異常気象により二度に渡り斜路が決壊したため災害復旧事業により現況復旧した経緯があります。復旧工事後に於いても施設の構造的な安定が見られず、その後も台風等の影響による波浪に耐えきれず災害が発生してしまい現状の形になっております。町としては工法変更を検討し、国、県への再整備の事業要請をしましたが、費用対効果やその他の難題があり事業化は見送られています。今後もねばり強く国や県と調整を図りながら再整備に向けて努力します。
饒平名 智弘	久米島高校園芸科の廃科について	久米島高校編成整備実施計画案について、町長の考え、意見を伺いたい。	町長	今回示された久米島高校編成整備計画の素案については、農業を産業の柱とする久米島の現状から、容認できるものではありません。13日には、県知事、県議会議長、県教育長に対して園芸科存続の要請行動を行って来ましたが、今後とも町民一丸となって撤回を求めていきます。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
饒平名 智弘	久米島一周線の街路樹について	空港線やその他の街路樹として植栽されている松がたくさん枯れているが、その原因は何か。また、その対策について町長の考えを伺いたい。	町長	県道沿線に多くの立枯れ松が見られます。その原因や今後の対策について県に問い合わせたところ立ち枯れの原因としては剪定の時期と台風による塩害が重なって起きたものと判断しております。また、枯死木については年度内に撤去するという事です。
宇江原 総清	鳥島射爆撃場の早期返還について	町長と総務課長は、本年9月の定例会における劣化ウラン弾についての質問に対して「福島第一原発事故とは違い、臨界のおそれはない」「福島原発というのとは異質なものと答弁した。これほど危機管理意識が低いのかとあきれかえっている。肥田舜太郎、鎌仲ひとみ共著の”内部被曝の脅威～原爆から劣化ウランまで”によると、セルビア共和国のビンチャ核施設のスナジヤナ博士は「劣化ウラン弾にプルトニウムやウラン236等が含有されていることが分かった」と言う。プルトニウムの毒性はウランの一万倍もあるとの事。また、エアゾール化したこの放射性物質は体内に入るとやすやすと子宮のバリアーを通り抜けて胎児に蓄積し、影響を与えろと言う。このような研究、調査が発表されても、町長はなお劣化ウラン弾の危険性はないと思うか伺う。	町長	劣化ウラン弾に関する学者の見解については、右から左まで幅広い意見があります。行政に携わる者としては、世界保健機構(WHO)や世界原子力機構(IAEA)、国連といったような公共的機関の見解を基本として、現実の久米島町における放射線等の測定結果及び町民の死亡原因の分析や健康診査等の客観的なデータをもとに判断する必要があります。これらに基づいて判断すると劣化ウラン弾による健康被害は、現在のところ認められません。しかしながら、劣化ウラン弾に関する幅広い意見がある以上、町民の健康状態の把握に努めるとともに、放射線の測定についても、国だけにゆだねるのではなく、町単独で実施する必要性はあると考えています。
宇江原 総清	コンクリート護岸の撤去とこれに伴う潮害防備保安林等の植栽について(河川を含む)	今年の2回の台風と大雨によって浦地川と阿里川以外の川は赤土が流れ海まで汚された。仲泊・大田一帯が潮の冠水被害も受けた。また、空港線の松の街路樹が多く立ち枯れた。私は、この実態から一つは、浦地川の上流まで両川岸の3mを町が買い上げし、河畔林の植栽等で赤土防止対策をすることと仮称河畔林設置条例を設けるべきと考えるが、町長はどう考えているのか伺う。また、シンリ浜の護岸の撤去と仲泊・大田一帯の海岸線の見直しが必要と考えるがどう思うか伺う。	町長	河畔林の整備については、環境保護、農地保全、河川管理の面から必要と思われるので、関係課の意見を聞きながら検討致します。まず手始めに「整備のモデル地域」としてホテル館の上流側での実施の可能性調査を致します。また、海岸線の見直しについては県と調整します。
宇江原 総清	久米島ホテル館の移管について	本町の「組織・機構改革ヒアリング資料」を入手した。その中でホテル館の業務が博物館業務と直接繋がらない業務が中心となっているから、自然環境部門への移管を希望するとしている。町長に伺う。本件は何を根拠に基づくものか。久米島ホテルの会に相談はしたのか。又はするののか。	町長	次年度の組織機構改革については、各課の抱える組織機構上の課題と要望について、ヒアリングを終えたところであります。組織機構については、どういふ組み合わせにした方が、行政目的を達成しやすいか、また効率的か、法律上の問題はないか等をもとに検討を進めているところです。機構改革についてのヒアリングは、基本的に課単位で行っていますので、久米島ホテル館の管理委託団体である久米島ホテルの会の意見はまだ、聞いていません。
喜久里 猛	久米島の未来について	久米島の未来について	町長 教育長	(1)親元で安心して学べる学習環境や島の経済面、活性化においても久米島高校の存続は計り知れないものがあり、将来において統廃合の打診があっても、当然拒否するつもりです。 (2)TPP(環太平洋連携協定)については、国政レベルの問題でありますので、県や関係する上部団体組織、県内関係団体とも歩調を合わせながら取り組みをしていきたいと考えています。